

令和7年2月27日会議概要

第1 日時

令和7年2月27日（木）午前9時20分から午前11時45分までの間

第2 出席者

在田委員長、池坊委員、森委員、森田委員、増田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、警察学校長、情報通信部長、首席監察官等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 議題

(1) 警察署ブロック運用の試行実施について

警務部長から、左京警察署の再編を見据えて、警察署ブロック内の相互支援体制を確立し、警察署の業務をより効果的なものにするため、本年4月1日から、川端警察署及び下鴨警察署のブロック運用の試行実施を行う旨、報告があった。初動捜査に大量の人員を投入する必要がある対象事件、事故等について事案の態様に応じ、ブロック内の警察署に対して人員・装備等の支援を要請することができるものであり、この取組を通じて左京署の再編整備に向けた署員同士の意識を高めたい旨、説明があった。

(2) 「京都府警察オープンカンパニー2025春」の開催について

警務部長から、京都府警察官等採用試験に向けた受験勧奨活動の一環として、本年3月1日、警察学校において、高校生以上35歳以下の方を対象とした「京都府警察オープンカンパニー2025春」を開催する旨、報告があった。これまでは参加者に画一的なインターンシップを受けてもらっていたが、今回は各部門が起案した取組の中から2部門を選んで就業体験してもらうこととしたほか、リクルーター相談会や学生ボランティアの活動紹介を行う旨、説明があった。

委員から、「より具体的なインターンシップを取り入れることで関心の高いところにアクセスできるという訴求力が高まると思う。このような取組で女性警察官を希望する者も増えると思うのでよろしく願います。」旨、発言があった。

(3) 「集まれ！リトルポリス」の開催について

警務部長から、京都府警察官等採用試験に向けた受験勧奨活動の一環として、本年3月2日、警察学校において将来の受験者となり得る小学生を対象とした「集まれ！リトルポリス」を開催する旨、報告があった。白バイ走行のデモンストレーションや災害警備活動のパネル展示等の仕事紹介に加え、白バイ等の乗車体験や学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」による防犯謎解き体験等を行う旨、説明があった。

委員から「人気がある取組とのことであり、今後もより多くの希望者が参加できるように工夫していただきたい。」旨、発言があった。

(4) 令和6年の懲戒処分等の状況について

首席監察官から、令和6年中の懲戒処分等の状況について報告があり、内容ではハラスメント、異性、飲酒に関連する事案が目立つことから、引き続き職員に対する踏み込んだ身上把握や事案に応じた指導教養を継続実施し、非違事案の未然防止に努める旨、説明があった。

委員から、「全体傾向について職員に周知し、それぞれの職員が認識、自覚した上で日々職務に当たることが大切だと思う。引き続きよろしくお願いします。」旨、発言があった。

(5) 杉良太郎警察庁特別防犯対策監による右京警察署訪問について

生活安全部長から、全国でオレオレ詐欺が多発した平成30年11月に、国家公安委員会委員長から警察庁特別防犯対策監を委嘱され、以後、特殊詐欺被害防止をはじめ様々な取組を行っている杉良太郎氏が、本年3月7日、右京警察署を訪問する旨、報告があった。右京警察署では、署長から犯罪情勢等の説明を受けた後、特殊詐欺被害防止対策等について署長や署員と意見交換を行うとともに、取材対応により京都府民に向けた注意喚起メッセージを発信する等、特殊詐欺被害防止対策の更なる推進を図る旨、説明があった。

委員から、「特殊詐欺被害防止に向けた府民への強いメッセージになると思う。広報活動をしっかりお願いします。」旨、発言があった。

(6) ミニ広報紙コンクールの実施結果について

地域部長から、今回実施されたミニ広報紙コンクールにおいて、応募作品92作品の中から最終審査で、下鴨署北山交番のミニ広報紙と京丹後署常吉駐在所のミニ広報紙の2作品が警察本部長賞に選ばれたほか、3作品が地域部長賞に決定した旨、報告があった。また、二次審査では、学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」や警察学校初任科生のほか、京都市立美術工芸高等学校の生徒等に評価をいただいたもので、これら若者の考え方や視点を警察署にフィードバックして今後の作成に役立てていきたい旨、説明があった。

委員から、「若い人の意見や見方をフィードバックすることが大切である。今後いろいろな人に見ていただいて更に良いものにしてほしい。」旨、発言があった。

(7) 特殊詐欺等の被害防止等を目的とした府内金融機関との連携に関する協定の締結について

刑事部長から、特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の被害が深刻な情勢にあることを踏まえ、金融機関がモニタリングにおいて顧客がこれら詐欺被害に遭っている可能性が高いと判断した口座に関する情報を当府警察に迅速に提供いただくことなどの連携に関する協定を締結する旨、報告があった。府内に本店を置く金融機関と京都府警察との間で締結するもので、本年3月10日、京都府公館において、協定締結式を行い、広く府民に周知するとともに、今回締結した協定をもとに、更なる被害防止や捜査の迅速化を図る旨、説明があった。

委員から、「いろいろな情報が集まるところから情報提供いただくことは、非常に大切なことである。更なる被害防止等に役立ててほしい。」旨、発言があった。

(8) 追加報告

大雪に伴う通行止めについて

交通部長から、本年2月21日から24日に実施された大雪に伴う通行止めや交通事故等について報告があった。

2 個別決裁

(1) 特例施設占有者の指定等に関する規則の一部改正について

会計課監査室長から、行政のデジタル化を踏まえた公示方法の見直し等に伴い特例施設占有者の指定等に関する規則を一部改正する旨、説明があり、審議の上、決定した。

(2) 京都府公安委員会に対する審査請求の裁決について（１件）

監察官室訟務官から、運転免許の取消処分を受けた者（１件１名）から、原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求を容認することを決定した。

(3) 「バイバイ原発３・８きょうとデモ」の許可申請について

警備第一課警備対策官から、本年３月８日に実施される「バイバイ原発３・８きょうとデモ」の申請状況について説明があり、審議の上、申請を許可した。

(4) 公安委員会宛苦情について（受理３件、処理２件）

公安委員会補佐室長から、過日受理した公安委員会宛の苦情申出１件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出に関して受理３件の報告があり、処理方針を決定するとともに、過日受理した公安委員会宛の苦情申出１件について調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

3 聴聞等

(1) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、10件の行政処分を審議した。

(2) 警備業者等に対する直接聴聞

公安委員会による風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律違反（２件）、警備業法違反（１件）に対する直接聴聞を実施し、審議の上、行政処分を決定した。

4 個別報告

(1) 令和７年春の定期人事異動について

警務部長から、令和７年春の定期人事異動の概要等について報告があった。

(2) 意見聴取結果報告

警務課人事担当補佐から、警察本部長の令和６年度の下半期業務目標に係る自己申告に関する公安委員会意見聴取結果の確認を行った。

(3) 直接聴聞に係る行政処分の事前説明について

生活安全企画課担当補佐から、３(２)の直接聴聞に係る行政処分の事前説明があった。

(4) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。